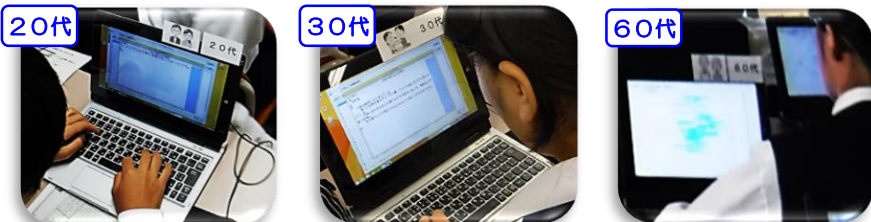


「スタディノート(データベース)」を活用した社会科の授業(三沢中学校)

「メディアコーディネーター週間」の授業から「ICT活用教育推進委員会研究授業」へ
『スタディノート(データベース機能)』の活用

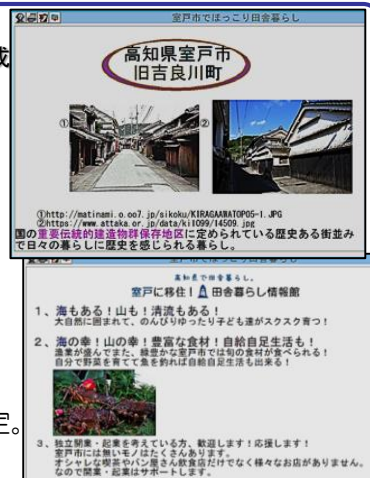
★2年生1～7組 <教科:社会「日本の諸地域 中国・四国地方考える」> ★授業者 永坂国大先生
○7時間扱いの第5～7時間目で「スタディノート」を活用(2年1組の第7時が研究授業)
<第7時の流れ>

中国・四国地方移住フェア 色々なチラシを見る→コメントをつける



例・生徒(Bさん)作成

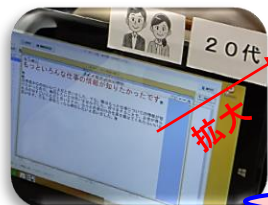
1ページ目
(上)
2ページ目
(下)



●座席によって決められた立場になりきり(画面の右上にシールを添付)
男子は男子、女子は男子のチラシをできるだけたくさん見る。

- ・20代後半の独身…「ストレスフルな都会ではなく田舎で働きたい」を想定。
- ・30代前半の子育て中の夫婦…「息子/娘をのびのびした田舎で育てたい」を想定。
- ・60代中盤の退職間際の夫婦…「老後をのんびり田舎で過ごしたい」を想定。

●自分の立場でいろいろなチラシを見て、「〇〇が良いので移住を決めた」とか、「候補にはなったが〇〇をもっと知りたい」「〇〇だから移住は決められない」など、チラシにコメントをつけ合う。



移住の候補地にはなりませんでしたが。
もっといろんな仕事の情報が知りたかったです
自然豊かなのはいいことだと思います。でも、僕はもっと仕事についての情報が知りたかったです。移住したいとは思いませんでした。知りたかったのは、お金の得られるのはすごいことだと思いますが、もっと若者向けの仕事を載せてくれたらいいと思います。でも、老後だったら移住したいと思いました。

◎移住を決めた
老後のことについて明確に書かれていたと思います。介護施設や観光地など、老後の生活にあった内容でした。移住をきめませんでした。

今治の歴史についてよく書かれていたと思います。しかし、今治の子育ての環境にはあまり触れられていなかったため、よく分かりませんでした。公園や保育園などの施設は多いですか？

自分の立場からいろいろなチラシにつけられたコメントの例

◎ぜひ移住したいです。
まずは子育て支援があるというのは魅力的だと感じました。川が近くにあるのもいいなと思います。子供との時間を大切にできるので住みたいです。

◎移住の候補地になりました
移住の候補地になりました
老後では自然に囲まれた生活がしたいと思っていたので、大山町の自然が魅力的だと思いました。
高齢者向けの施設などの紹介があると嬉しいです

旅行に行きたい！
移住までとはいきませんが、そこ独自の魅力が丁寧に紹介されていて、旅行に行くのに最適な場所だなと感じました！もう少し、交通の便や教育などに触れてくれるとより良かったです！

<永坂国大先生より>

- ・自分にももらったコメントを見て、自分の作ったチラシの課題を考えて修正するとこのまでいく予定でしたが、残念ながら修正する時間はとれませんでした。でも、もらったコメントを見て「確かに、これは書いてなかったよな～」とつぶやく生徒がいるなど、もらったコメントの内容に苦笑したり、納得したり、気づかされたりしている生徒たちの様子が見られました。
- ・研究授業を見に来てくださった先生方は、生徒たちがタブレットPCの画面を見てキーボードを打っている時間が長くて驚かれたかもしれません。ただ、個人差はあるものの、生徒たちは他の生徒の作ったチラシを見ながら気づいたことや考えたことを、作った生徒にわかりやすいように一生懸命考えながら文章を打ち込んでいました。「言葉で発して消えてしまう対話」ではなく「デジタルで記録に残る対話」をしていたと思います。また、「友達からコメントをもらうことで、自分の作品や考えを良いものにしていける」という可能性を感じてくれたと思います。
- ・今回の授業は社会科の「地域的な課題の解決に向けた考察」になるとともに、情報活用能力を育成することにもつながったと思います。

「ICT環境などが完璧でないから授業で使わない」ではなく、できる範囲で活用することで少しでも生徒の力を高められればよいと感じました。キーボードを打つのも学校で練習する機会を作るべきで、それを社会科の授業でやってもいい、むしろ生徒のためにはやった方がいいと気づきました。

